

## 2023年度 全日本学生柔道形競技大会（第2回） 要項

1. 大会名 : 2023年度 全日本学生柔道形競技大会（第2回）
2. 主催 : 全日本学生柔道連盟
3. 主管 : 北信越学生柔道連盟
4. 競技種目 : (1) 投の形 (2) 固の形 (3) 柔の形
  - ・各種目において、性別の組み合わせは問わない。
  - ・複数種目の出場は認めない。
  - ・本大会は「録画審査方式」を採用する。
5. 出場資格 : (1) 今年度、全日本柔道連盟に登録済みの者  
 (2) 国公立大学または短期大学などに在籍の者  
 (3) 在学中、実業団その他の職域チームに属し、その試合に出場していない者  
 (4) 在学期間における、日学柔連指定修得単数を満たしていることとする。
6. 参加申込 : (1) 申し込み先  
 〒921-8501 石川県野々市市扇が丘 7-1  
 金沢工業大学 鈴木貴士  
 E-mail : [suzuki-t@neptune.kanazawa-it.ac.jp](mailto:suzuki-t@neptune.kanazawa-it.ac.jp)  
 (2) 申込方法  
 ①各地区学生柔道連盟が参加者を取りまとめ、一括して、申込用紙を上記申し込み先にメールにて送信する。  
 ②在学証明書及び成績証明書は原本を全日本学生柔道連盟事務局に送付する  
 (3) 申し込み期限  
 ①申し込み期限は、2023年10月31日（火） 17:00 までとする。  
 ②大会主管事務局の返信をもって、参加申し込みが完了したこととする。  
 (4) 映像の提出期限  
 ①映像は、大会主管事務局が参加校に送付したリンク先へ期日までにアップロードすること。  
 その際、動画ファイル名は、事務局側で指定した「種目+番号」とする。  
 例) 投01、固11、柔21  
 ②映像のアップロード期日は、2023年11月6日（月）～12月17日（日）23:59 までとする  
 ③映像の提出に当たっては、各所属の責任者が確認し、映像に不適切な動作や不謹慎な態度がないか確認したものを送ることとする。また、送られて来た映像に上記内容が含まれている場合は、審査対象外となることがある。  
 ③大会主管事務局で映像を確認し不備がなければ「受理」、不備があれば「修正依頼」の連絡を行うため、期限を問わず、早めに提出することが望ましい。なお「修正依頼」をした大学については、概ね1週間以内に再提出すること。  
 (5) 大会参加費  
 1組：1,000円とし、各地区学生柔道連盟が取りまとめて、11月30日（木）までに下記口座に振り込むこと。  
 振込先：三井住友銀行 小石川支店（813）普通 428679  
 （一社）全日本学生柔道連盟 会長 沖永佳史
7. 各地区出場枠 : 各地区の出場枠は以下のとおりとする。

北海道	東北	北信越	関東	東京	東海	関西	中国四国	九州	合計
4	4	4	10	17	4	8	4	5	60

申し込みの際、以下の条件を満たしていること

- ①3の倍数分の枠は、「投の形」「固の形」「柔の形」に均等にエントリーすること
- ②端数の枠はどの種目へのエントリーでも可とする  
 例：出場枠が4の地区：投・固・柔に各1組エントリー、残り1組は種目を問わない  
 出場枠が8の地区：投・固・柔に各2組エントリー、残り2組は種目を問わない
- ③少なくとも1組は女子を含めなければならない
- ④1団体につき、出場できる組は各地区出場枠の1/4（端数切捨て）とする。  
 但し、男女柔道部がある場合は、それぞれ1つの団体とみなす。また、東京地区は1団体の上限を3組までとする。
- ⑤各地区出場枠は上記のとおりであるが、出場希望者が多い地区に限り最大2枠まで追加を認める。ただし、1校の上限は原則として規定枠を含め3組までとする。
8. 撮影規定 : 動画の撮影方法においては、以下のとおりとする。  
 ※別紙「形競技大会（録画審査方式）動画撮影要領」を必ず参照すること  
 (1) 服装・衛生  
 ①柔道衣に関しては全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿、帯）を着用すること。柔道衣は取受ともに、白とする。インナーの着用は不可とし、女子のシャツは白とする。  
 ②所属を示すゼッケンのある柔道衣とする。  
 ③長髪の場合は、動作の妨げにならないように束ねること。  
 (2) 撮影範囲・位置  
 ①4間の間合い時に被写体が途切れることのないようにカメラの位置を調整すること。

※場外での取受両方の立礼が入る位置をフレーム幅の基準とする。投の形、柔の形でははみ出す場合があるので、場外での取受両方の立礼が入る位置をフレーム幅の基準とする。演技中は、4間の間合い時（両者の距離（約7.3m）に被写体が途切れることのないように撮影すること。

※逆に4間を大幅に超える場合は、演技映像が小さくなってしまうので注意すること。

②カメラの位置は概ね立礼時の演技者の帯～頭（上半身）を目安に高さを設定し、必ず固定して撮影すること。

③映像には演技者以外の人や演技以外の音声が入らないようにすること。

④逆光など映像が鮮明に映らないような要素は極力排除すること。

(3) ラインテープ

①取受が演技の始めと終わりに立礼又は坐礼をする位置を示すためにラインテープを貼ることとする。ラインテープは幅約10cm、長さ約50cmとする。

②テープ色は畳の色と同色を避けていけば問わない。

③中央（前後左右の中心）にテープを貼る。

④中央から1.5間（約275cm）空けた位置にテープの外側を合わせる。

⑤演技者はテープの外側につま先を合わせる（テープは踏まない。テープは外側に貼るので、越したり、離れすぎないようにする。）

⑥チームにより試合場や畳の大きさが異なるため、畳の枠で合わせず、中心からの距離でテープを貼ることとする。

(4) 動画

①画素数（フレーム枠）は1920×1080（1080P）であること。

※「1080P」は「フルハイビジョン」「フルHD」とも表記される。

②動画のフレームレート（fps）は概ね「30」であること。

③①②を満たしていれば、録画する機器は指定しない。

④撮影者がおらず、セルフでの撮影となる場合は、演技前後の部分が入ってもかまわない。

⑤動画は未編集のものとする。但し、「演技前の『場外での取受両方の立礼』」から「演技後の『場外での取受両方の立礼』」以外は切り取ってもかまわない。

9. 競技方法：(1) 審査及び審査員

①審査は1種目の形をその種目の全日本柔道連盟公認形審査員5名で行う。

②審査員は、評価した点数を公式採点票に明記する。

(2) 審査方法

①演技者（組）による演技（礼法・服装、技の内容、全体の流れ）を審査する。

②10点満点で評価する。

③各演技（組）における5人の審査員の評点のうち、最高点と最低点を除いた3人の審査員の評点の合計（小計）をその施技の得点とする。最高点又は最低点が複数（例；7, 7, 6, 6, 6）であった場合、除く点はそれぞれ1つとする（例；7を1つ、6を1つ除く。この場合は、7 + 6 + 6 = 19点はその組の得点となる）。

(3) 順位の決定

①各評価項目の得点を合計し（＝合計点という）、その高い方を上位とする。

②合計点が同点の場合

各評価項目の評点（＝最高点と最低点を除いた評点）を見て、より低い評点のある方を下位とする。

③同内容の場合、②のより低い評点の個数の多い方を下位とする。

④同内容の場合、各評価項目の評点（＝最高点と最低点を除いた評点）を見て、より高い得点のある方を上位とする。

⑤同内容の場合、④のより高い評点の個数の多い方を上位とする。

⑥それでも同内容の場合、同位とする。

⑦得点は合計点と100点換算（小数点第2位以下切り捨て）の2つを表示する。

(5) 審査基準

審査員は、下記の内容を参考にして総合的に評価をする。

①礼法・服装

礼法：立礼、坐礼、姿勢、目付、呼吸等

服装：服装の乱れ、帯・紐の解け等

②技の内容

基本動作：基本動作、姿勢、態度、組み方、進退動作、体捌き、受身等

技の理合い：正確度（崩し・作り・掛け）、緩急、強弱、気迫、迫真性、順序

受身等位置の取り方：位置、相手との間合い等

③全体的な流れ リズム、テンポ、調和等

(6) 評価の判断基準

評価の判断基準は、次のとおりとし、0.5点刻みにて評価する。

①非常に優れている 9点～10点

②優れている 7点～8.5点

③普通である 5点～6.5点

④劣る 3点～4.5点

- ⑤非常に劣る 0.5点～2.5点
- (7) 間違いがあった場合の評点について
  - ①次の場合は合計点を2分の1とする。
    - ・やり直した場合、その技及び全体の流れの評価はそれぞれ4.5点を最高点とする。
  - ②評価項目以外の技を演技した場合、その技は0点とする。
- (8) 失格
 

演技者（組）が演技の順序を間違えた場合、及び技を抜かした場合には、審査員が合議し、適切に処理する。
- (9) 抗議の禁止
 

審査員による審査結果は絶対であり、異議の申し立ては認められない。
- (10) その他
 

本要項に定められていない事態が発生した場合、審査員は、審査員長及び大会委員長と合議の上、処理する。

- 10. 傷 害 保 険 : 撮影における怪我等に関して、主催者は一切の責任を負わない。各自傷害保険等に加入すること。
- 11. 表 彰 : 各種目の上位3組を表彰する。4～8位に「優秀賞」、得点に応じて「敢闘賞」、「奨励賞」を授与する。
- 12. 審 査 : 12月22～24日（金、土、日）、講道館会議室
- 13. 大会事務局 : 主催事務局：
  - 〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 講道館内 （一社）全日本学生柔道連盟
  - TEL 03-3818-1587 FAX03-3818-1960
  - 主管事務局：（北信越学生柔道連盟内 形競技大会担当校）
  - 〒921-8501 石川県野々市市扇が丘 7-1
  - 金沢工業大学 鈴木貴士
  - E-mail : [suzuki-t@neptune.kanazawa-it.ac.jp](mailto:suzuki-t@neptune.kanazawa-it.ac.jp)
  - ※問い合わせ等はすべて主管事務局である北信越学生柔道連盟担当校（金沢工業大学）に行うこと。
- 14. そ の 他 : <個人情報（所属・氏名）や肖像権の取り扱い>
  - (1) 提出された動画の映像は、YouTubeにて公開される場合がある。また、報道機関や柔道連盟等により新聞および関連ホームページ等に公開される場合がある。動画は各種講習会での映像資料として活用される場合がある。動画を提出した時点で、個人情報（所属・氏名）や肖像権についての上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。
  - (2) 各形の優勝組は、次年度の全日本学生柔道優勝大会などの当連盟主催大会において「形」を披露することとする。
  - (3) 各形の上位5組程度は、全日本柔道連盟が主催する形強化練習（合宿）に参加し、一定水準以上の技量が認められた場合は、次年度開催される国際大会に派遣されることがある。